

平成 29 年度 事業実績報告

1 会議の開催

開催日	会議名	協議事項等
平成 29 年 5 月 25 日	第 1 回 書面協議	・平成 28 年度事業実績報告及び決算について ・平成 29 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について ・地域内フィーダー系統確保維持計画の変更（案）について ・瑞浪市地域公共交通総合連携計画事業実施状況の評価（案）について
平成 30 年 1 月 12 日	第 2 回 本会議	・瑞浪市コミュニティバス運行内容の変更（案）について ・瑞浪市デマンド交通運行内容の変更（案）について ・地域内フィーダー系統確保維持計画事業評価について

2 地域内フィーダー系統確保維持計画の変更

平成 28 年度瑞浪市地域公共交通会議において策定した地域内フィーダー系統確保維持計画の変更を行った。デマンド交通の導入地区の拡大であり、既に導入済みの日吉地区・明世地区・大湫地区に加え、平成 29 年 10 月から釜戸地区にも導入する。なお、釜戸地区については、平成 29 年 4 月から運行を開始しているが、計画上の位置づけとしては、平成 29 年 4 月から 9 月までは試験運行としている。

3 運行内容の検討

平成 30 年 4 月からの瑞浪市コミュニティバス及びデマンド交通運行について、地区要望及び利用者アンケートを踏まえて、より利便性の高い運行内容となるよう検討を行った。コミュニティバスについては、バス停の名称を利用者に分かりやすい名称に改めた。また、瑞浪高校への登校時間に間に合うように運行ダイヤを調整した。デマンド交通については、観光客も利用できる運用とし、「大湫宿」「細久手宿大黒屋前」というミーティングポイントを追加した。また、要望に基づき、ミーティングポイントを追加し、デマンド交通運行ルート of 延長を行った。

4 地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価

地域内フィーダー系統確保維持計画については、毎年、地域公共交通会議において事業評価を行う必要があり、計画の進捗状況について事業評価を行った。また、計画の推進のための具体的な事業として、運転免許証自主返納支援事業やデマンド交通の観光利用を実施していくこととした。